

令和元年度(3ヶ年総括)報告書(案)について

考え方

- ・ 来年9月に現在の会議体の設置期限を迎えるため、今回の報告書は3カ年の議論を総括するものとする
- ・ 第2次中間とりまとめ(第1次中間とりまとめ含む)の内容を含むものとする
- ・ 今年度の議論「長期保存・長期利用」「利活用モデル」「つなぎ役」について盛り込むものとする

目次(案)

はじめに

- 1 これまでのデジタルアーカイブに関する取組(5. 諸外国の取組調査の件を追記)
- 2 議論の背景
- 3 実務者検討委員会で示されたデジタルアーカイブの構築・連携の現状と課題
 - 書籍等分野(国立国会図書館)
 - 公文書分野(独立行政法人国立公文書館)
 - 文化財分野(文化庁政策課)
 - 文化財分野(独立行政法人国立美術館)
 - 文化財分野(独立行政法人国立文化財機構)
 - メディア芸術分野(文化庁参事官(芸術文化担当))
 - メディア芸術分野(独立行政法人国立美術館国立映画アーカイブ)
 - 自然史・理工学分野(独立行政法人国立科学博物館)
 - 人文学分野(大学共同利用機関法人人間文化研究機構)
 - 放送番組分野(公益財団法人放送番組センター)
 - 放送番組分野(日本放送協会)
- 4 デジタルアーカイブ社会の実現に向けた施策の検討
 - (1) デジタルアーカイブ社会とは
～本文はイキママ＝リードとして整理～
 - (2) デジタルアーカイブ構築の推進
(メタデータの整備)
(デジタルコンテンツの拡充)
(地域アーカイブの構築)
 - (3) 長期保存・長期利用保証の在り方
～本文イキママ＝リードとして整理～
(望ましい長期保存・長期利保証とは)

- (4) データの公開・オープン化の促進
 - (データ公開・オープン化に対するインセンティブの考え方)
 - (公開範囲の考え方)
 - (サムネイル／プレビューの公開)
 - (**利用条件の考え方**)
 - (デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示とは)
- (5) 利活用の促進
 - (**利活用モデルの理想形／市民参加型のアーカイブ**)
 - (具体的な利活用の**好事例とベストプラクティス**を目指して)
 - (**権利制限規定の整備**)
 - (**肖像権やプライバシー等とデジタルアーカイブ振興との調和**)
 - (**新技術を用いた利活用や様々な分野における利活用の可能性**)
 - (**デジタルアーカイブ産学官フォーラムの開催**)
- (6) 人的基盤の整備
- (7) アーカイブ機関の意識啓発
- (8) 評価の枠組みの整備

~~5 デジタルアーカイブに関する諸外国の取組状況~~

~~(1) 調査の背景・目的~~

~~(2) 諸外国における取組状況の概要~~

~~ア EU~~

~~イ 中国~~

~~ウ 韓国~~

~~エ 米国~~

~~(3) 諸外国における統合ポータルに関する取組と課題~~

~~ア EU~~

~~イ 中国~~

~~ウ 韓国~~

~~エ 米国~~

5 国の分野横断型統合ポータルの構築

- (1) 連携の方針
- (2) つなぎ役について
 - ～パラグラフごとに項目立て(文章はイキママ)～
 - (求められる役割)
 - (アーカイブ機関との役割分担)
- (3) 共通メタデータフォーマットの策定
 - (連携フォーマット)
 - (利活用フォーマット)

(4) 一般公開について

(試験版)

(正式版)

(5) 運営主体

～本文イキママ～

(理想の運営体制とは)

6 今後の主要検討課題

○ デジタルアーカイブの広報の在り方・運営ノウハウの共有について 等

(補足資料)

○ 長期保存・長期利用保証ガイドライン(仮)

○ デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について(2019 年版)

○ ジャパンサーチにおける二次利用条件表示等の在り方について

○ デジタルアーカイブアセスメントツール

○ デジタルアーカイブアセスメントツール事例

(関連資料)

○ 工程表(令和元年 11 月 6 日 第 8 回実務者検討委員会更新版)

○ 我が国におけるデジタルアーカイブ推進の方向性(報告書) エグゼクティブ・サマリー

○ デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン(ガイドライン)-概要-

○ 海外調査結果の概要

(参考：第2次中間とりまとめ_目次)

はじめに

- 1 これまでのデジタルアーカイブに関する取組
- 2 議論の背景
- 3 実務者検討委員会で示されたデジタルアーカイブの構築・連携の現状と課題
 - 書籍等分野（国立国会図書館）
 - 公文書分野（独立行政法人国立公文書館）
 - 文化財分野（文化庁政策課）
 - 文化財分野（独立行政法人国立美術館）
 - 文化財分野（独立行政法人国立文化財機構）
 - メディア芸術分野（文化庁参事官（芸術文化担当））
 - 自然史・理工学分野（独立行政法人国立科学博物館）
 - 人文学分野（大学共同利用機関法人人間文化研究機構）
 - 放送番組分野（公益財団法人放送番組センター）
 - 放送番組分野（日本放送協会）
- 4 デジタルアーカイブ社会の実現に向けた施策の検討
 - (1) 「デジタルアーカイブ社会」とは
(「デジタルアーカイブ社会」の位置付け)
(デジタルアーカイブ産学官フォーラムの開催)
 - (2) デジタルアーカイブ構築の推進
(メタデータの整備)
(デジタルコンテンツの拡充)
(地域アーカイブの構築)
 - (3) 長期利用保証の在り方
 - (4) データの公開・オープン化の促進
(データ公開・オープン化のインセンティブ)
(公開範囲の考え方)
(サムネイル／プレビューの公開)
(オープン化への取組の考え方)
(デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示)
 - (5) 利活用の促進
(市民参加型のアーカイブ)
(具体的な利活用のシナリオ)
(今後の利活用の可能性)
(新技術を用いた利活用)
(教育現場における利活用)

- (6) 人的基盤の整備
 - (7) 意識啓発
 - (8) 評価の枠組みの整備
 - 5 デジタルアーカイブに関する諸外国の取組状況
 - (1) 調査の背景・目的
 - (2) 諸外国における取組状況の概要
 - ア EU
 - イ 中国
 - ウ 韓国
 - エ 米国
 - (3) 諸外国における統合ポータルに関する取組と課題
 - ア EU
 - イ 中国
 - ウ 韓国
 - エ 米国
 - 6 国の分野横断型統合ポータルの構築
 - (1) 連携の方針
 - (2) つなぎ役の明確化と支援
 - (3) 運営主体
 - (4) 共通メタデータフォーマットの策定
 - (連携フォーマット)
 - (利活用フォーマット)
 - (5) 試験版の一般公開について
 - 7 今後の主要検討課題
 - 利活用モデルの確立、制度的課題の整理
 - 長期利用保証の在り方について
 - 各分野・地域におけるつなぎ役の役割や分担の明確化とつなぎ役に対する国の支援策について
 - ジャパンサーチの運営体制の在り方について
 - デジタルアーカイブの広報の在り方・運営ノウハウの共有について 等
- (補足資料)
- デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について (2019 年版)
 - ジャパンサーチにおける二次利用条件表示等の在り方について
 - デジタルアーカイブアセスメントツール
 - デジタルアーカイブアセスメントツール事例
- (関連資料)

○工程表（平成 30 年 11 月 20 日 第 5 回実務者検討委員会更新版）

○我が国におけるデジタルアーカイブ推進の方向性（報告書） エグゼクティブ・サマリー

○デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン（ガイドライン）-概要-